

**堺市立の高齢者福祉施設のあり方に関する基本指針（案）  
についてのご意見の要旨と本市の考え方**

	ご意見の要旨	市の考え方
○老人福祉センターの入浴事業について		
1	<p>入浴事業は継続して残してほしい。 (特に理由の記載のないもの) 【意見数：93件】</p>	<p>人口減少と少子高齢化が急速に進展している今日においては、限りある資源や財源をより有効に活用しながら、持続的な発展をめざしていく必要があります。そうした中、老人福祉センターにおいても、今後施設に求められる役割や機能を踏まえたスペースや財源の適正配分などを通じて、時代に合った施設や事業のあり方を見直していく必要があります。</p> <p>そして、高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていただけるように、本市における地域包括ケアシステムを構築及び深化・推進していくためには、高齢者の介護予防や社会参加に資する事業は、より身近な地域で展開していく必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、令和6年度までを目途に入浴事業を継続しますが、今後は、限られた資源や財源を有効に活用するために、老人福祉センターの事業内容を見直し、身近な地域における高齢者の介護予防や社会参加に資する事業へと転換していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
2	<p>入浴費用(100円～300円)を徴収してもよいから入浴事業を続けてほしい。 【意見数：39件】</p>	<p>受益者負担についても検討しましたが、低額な料金では入浴事業の運営に必要な費用をまかなうことができないことから、今後もずっと事業を継続することは難しいと考えています。ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>

## 堺市立の高齢者福祉施設のあり方に関する基本指針（案） についてのご意見の要旨と本市の考え方

3	<p>災害時にお風呂があると役に立つので、残すべき。 【意見数：7件】</p>	<p>地震等の災害時において、老人福祉センター自体が被災し、活用できない可能性もあり、民間施設を含め、その時点で活用することが可能な資源を活用するほかありません。よって、災害時のために老人福祉センターの入浴事業を継続することは難しいと考えておりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
○その他の意見や要望など		
4	<p>入浴事業をなくすと、これまでの利用者が減ることになり、引きこもりに繋がる。</p>	<p>今後も高齢化が進展していく中で、高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていただけるようにするためには、高齢者の介護予防や社会参加に資する事業は、より身近な地域で展開していく必要があると考えています。今後は、限られた資源や財源を有効に活用するために、老人福祉センターの事業内容を見直し、身近な地域における高齢者の介護予防や社会参加に資する事業へと転換していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
5	<p>一人暮らしの高齢者にとって、入浴事業は安心安全の観点から有意義である。</p>	<p>ご指摘のように、一人暮らしの方にとって、他の高齢者の方とともに入浴できることは安心安全につながる側面もありますが、一部の利用者の方しかご利用いただけないことから、公平性の観点から事業継続は難しいと考えています。ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
6	<p>入浴事業はコミュニティの場として有効である。</p>	<p>ご指摘のように、入浴事業はコミュニティの場のひとつとして有効ですが、他の事業でも代替可能だと考えます。今後も高齢化が進展していく中で、限られた資源や財源を有効に活用する、という観点から、今後も事業を継続することは難しいと考えています。ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>

**堺市立の高齢者福祉施設のあり方に関する基本指針（案）  
についてのご意見の要旨と本市の考え方**

7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家に風呂がないため、必要である。</li> <li>・近くに銭湯がないため、必要である。</li> <li>・行政が無料の入浴事業を続けてきたことで、近所にあった銭湯がつぶれ、不便になったことの一因があり、今更やめるなんて無責任ではないか。</li> </ul>	<p>老人福祉センターの入浴事業は生活衛生の維持向上のためではなく、「憩い・くつろぎ」という視点に基づいた健康増進や交流の場のひとつとして、実施しているものです。</p> <p>今後は、限られた資源や財源を有効に活用するために、老人福祉センターの事業内容を見直し、身近な地域における高齢者の介護予防や社会参加に資する事業へと転換していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
8	週3回など営業日を減らしても良いので継続して実施してほしい。	浴場の営業日を減らすことは、運営費の削減には一定つながりますが、設備更新に必要な費用の削減にはつながらないため、今後もずっと事業を継続することは難しいと考えています。ご理解いただきますよう、お願いいたします。
9	風呂は健康増進のために有効であるため、継続すべきである。	入浴事業は、高齢者の方が自宅から外出し、他の方と交流するという観点からは、介護予防や健康増進につながりますが、他の事業でも代替可能であり、今後も高齢化が進展していく中で、限られた資源や財源を有効に活用する、という観点から、今後も事業を継続することは難しいと考えています。ご理解いただきますよう、お願いいたします。
10	以前実施していたふれあいバスの様に各センターへの交通の便を良くしてほしい。	老人福祉センターのアクセス性の向上については、いただいたご意見も踏まえ、今後も調査研究してまいります。
11	広報などによるセンターの利用促進の周知不足が固定化を招いたのではないか。	いただいたご意見を踏まえ、今後も施設の利用促進に努めてまいります。